

(お知らせ)

令和7年11月12日
防 衛 省

国連野外衛生救護補助員コースへの陸上自衛官の派遣について

国連活動支援局が実施する国連三角パートナーシップ・プログラム（United Nations Triangular Partnership Programme: UNTPP）の一環として、11月24日からウガンダ共和国において実施される国連野外衛生救護補助員コース（United Nations Field Medical Assistants Course: UNFMAC）の教官養成訓練に、陸上自衛官1名を教官として派遣することとなりましたので、お知らせします。

平成26年9月の国連PKOハイレベル会合（第1回PKOサミット）における安倍総理（当時）の表明に基づき、我が国はUNTPPに施設分野の面から貢献を行ってまいりました。令和元年度より、国連が同プログラムでの支援の枠組みを衛生分野にも広げたことを受け、防衛省・自衛隊として、近年の国連PKOにおける課題である派遣要員の安全確保のための衛生能力の強化に主導的に貢献できるものと考え、UNFMACに自衛官を教官として派遣しています。

記

- 1 訓練期間： 令和7年11月24日～同年12月12日
- 2 派遣先： ウガンダ共和国（国連エンテベ地域支援センター）
- 3 派遣要員： なかはら あすか
中原 明日香 1等陸尉（看護官）
- 4 事業内容： 医療分野に係る教育